



主に年配の男性を襲う肺炎 レジオネラ症にご注意！

平成 30 年 10 月 17 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

早期発見・

早期治療

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 41 週分・10 月 8 日～10 月 14 日)

《 インフォメーション 》

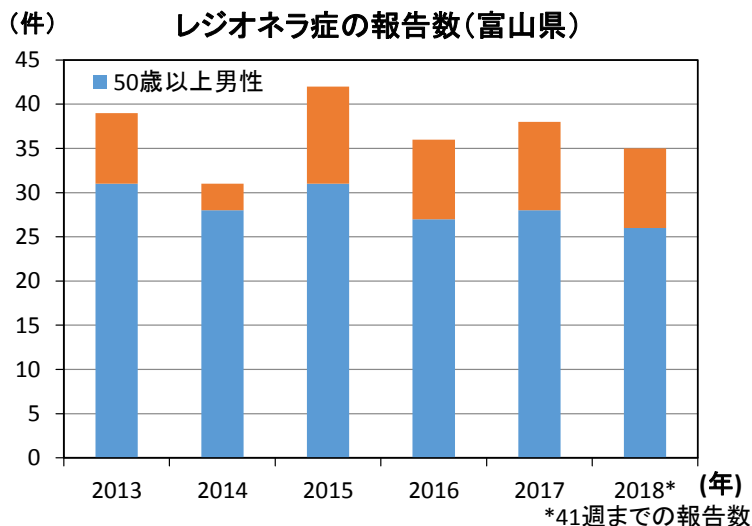
●レジオネラ症

レジオネラ症の県内の報告数は、近年 30～40 件で推移していますが、今年には既に 35 件報告されています(10 月 14 日現在)。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による感染症です。浴用施設やクーラーの冷却塔、加湿器等の水を利用する設備で衛生管理が不十分な場合、レジオネラ属菌が増殖しやすくなります。人は、菌を含んだ水しぶきや土ぼこりを吸い込むことで感染します。人から人への感染はありません。

レジオネラ症は発熱を主症状とし、肺炎症状が見られるレジオネラ肺炎と見られないポンティアック熱の二つに分類されます。レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、咳、高熱、悪寒、胸痛等の症状に加え、消化器症状や中枢神経系の症状が現れます。有効な抗菌薬治療がなされないと、致死率は 60～70%にもなりますが、適切な治療がなされれば致死率は 5～10%となります。

レジオネラ症の患者は中高年の男性に多く、県内でも 50 歳以上の男性が患者全体の 7 割以上を占めています(図参照)。レジオネラ症は、早期に診断して適切な治療を開始することが重要です。上記のような症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 2件 (①70歳代、女性 ②80歳代、男性)

四類感染症 レジオネラ症 1件 (60歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (80歳代、女性、B群)

風しん 1件 (30歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1位	感染性胃腸炎	3.24	3.83	↓
2位	R S ウイルス感染症	1.66	3.41	↓
3位	ヘルパンギーナ	1.17	1.66	↓
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	1.00	↓
5位	マイコプラズマ肺炎	0.40	0.20	↑
6位	手足口病	0.34	0.79	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第41週 平成30年10月8日～平成30年10月14日）

分類	疾患	今週報告分（第41週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			1	1		2	9	13	46	17	73	158	
三類感染症	細菌性赤痢										1		1	
	腸管出血性大腸菌感染症							3	3	4	3	11	24	
	バラチフス											1	1	
四類感染症	E型肝炎							1		1	1		3	
	A型肝炎											4	4	
	つつが虫病											1	1	
	デング熱										3		3	
	レジオネラ症				1		1	2	1	7	4	21	35	
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4		8	12	
	急性弛緩性麻痺										1		1	
	急性脳炎							2		1	1	1	5	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			1	4	1	6	2	5	18	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		2		1	5	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	7	4	14	29	
	水痘（入院例）							1		2		3	6	
	梅毒									1		10	11	
	播種性クリプトコックス症											3	3	
	百日咳										7		12	
	風しん					1	1			1	1	4	6	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ						0	2,232	1,824	3,485	2,449	5,356	15,346
			6	5	10	5	22	48	58	36	217	84	549	944
RSウイルス感染症		1.50	1.67	1.25	1.25	2.20	1.66							
		3	2	1	3		9	219	74	250	29	292	864	
咽頭結膜熱		0.75	0.67	0.13	0.75		0.31							
		3	1	6	1	10	21	156	112	535	215	753	1,771	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.75	0.33	0.75	0.25	1.00	0.72							
		22	13	20		39	94	1,116	761	1,213	222	2,698	6,010	
感染性胃腸炎		5.50	4.33	2.50		3.90	3.24							
					1	2	3	20	6	93	54	102	275	
水痘					0.25	0.20	0.10							
				2	7	1	10	8	12	95	83	123	321	
手足口病				0.25	1.75	0.10	0.34							
		1	1			1	3	7	2	91	44	38	182	
伝染性紅斑		0.25	0.33			0.10	0.10							
		2	1	5		1	9	54	42	189	47	142	474	
突発性発しん		0.50	0.33	0.63		0.10	0.31							
		5	10	10	3	6	34	94	103	306	87	271	861	
ヘルパンギーナ		1.25	3.33	1.25	0.75	0.60	1.17							
					1	1	2	5	10	20	4	36	75	
流行性耳下腺炎					0.25	0.10	0.07							
				1			1			1	14	1	16	
急性出血性結膜炎				0.50			0.14							
				1			1	2	18	11	4	5	40	
流行性角結膜炎				0.50			0.14							
												5	5	
細菌性髄膜炎														
											2	2		
無菌性髄膜炎														
	1				1	2	6	4	6	6	9	31		
マイコプラズマ肺炎	1.00				1.00	0.40								
										1	3	4		
クラミジア肺炎														
							3		4	2	7	16		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）														
インフルエンザによる入院患者（*）							0						0	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年9月分）

		9月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			3		7	10	3	3	18		69	93
				1.00		1.75	1.00						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1	1			2		6	4	1	12	23
			1.00	0.33			0.20						
尖圭コンジローマ					1	2	3			3	12	13	28
					1.00	0.50	0.30						
淋菌感染症						3	3			1		21	22
						0.75	0.30						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	8	1	1	2	13	10	22	10	18	37	97
		1.00	8.00	1.00	1.00	2.00	2.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1				1	2	3		15	2	8	28
		1.00				1.00	0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。